

アイデア カタチ
可能性を製品に
Total Solution Provider

KYODEN
GROUP



2022年3月期第2四半期 決算説明会資料

株式会社 キョウデン

証券コード6881

2021年11月11日

2022年3月期 第2四半期 決算概要（連結）

売上高：電子事業 国内／海外基板及びEMS事業においての需要が急回復
工業材料 グラスファイバー原料及び窯業原料が堅調に推移

営業利益：主に電子事業の増収ならびに生産性効率化による増益効果継続

経常利益：外貨建て債権の評価替え等で61百万円の為替差益が発生

【金額単位：百万円】

	2021年3月期 1-2Q	2022年3月期 1-2Q	増減額	増減率
売上高	22,866	27,309	4,443	19.4%
営業利益	970	2,616	1,646	169.6%
EBITDA (償却前営業損益)	1,915	3,573	1,658	86.5%
経常利益	1,017	2,634	1,617	158.8%
親会社株主に 帰属する当期純利益	674	1,796	1,122	166.5%

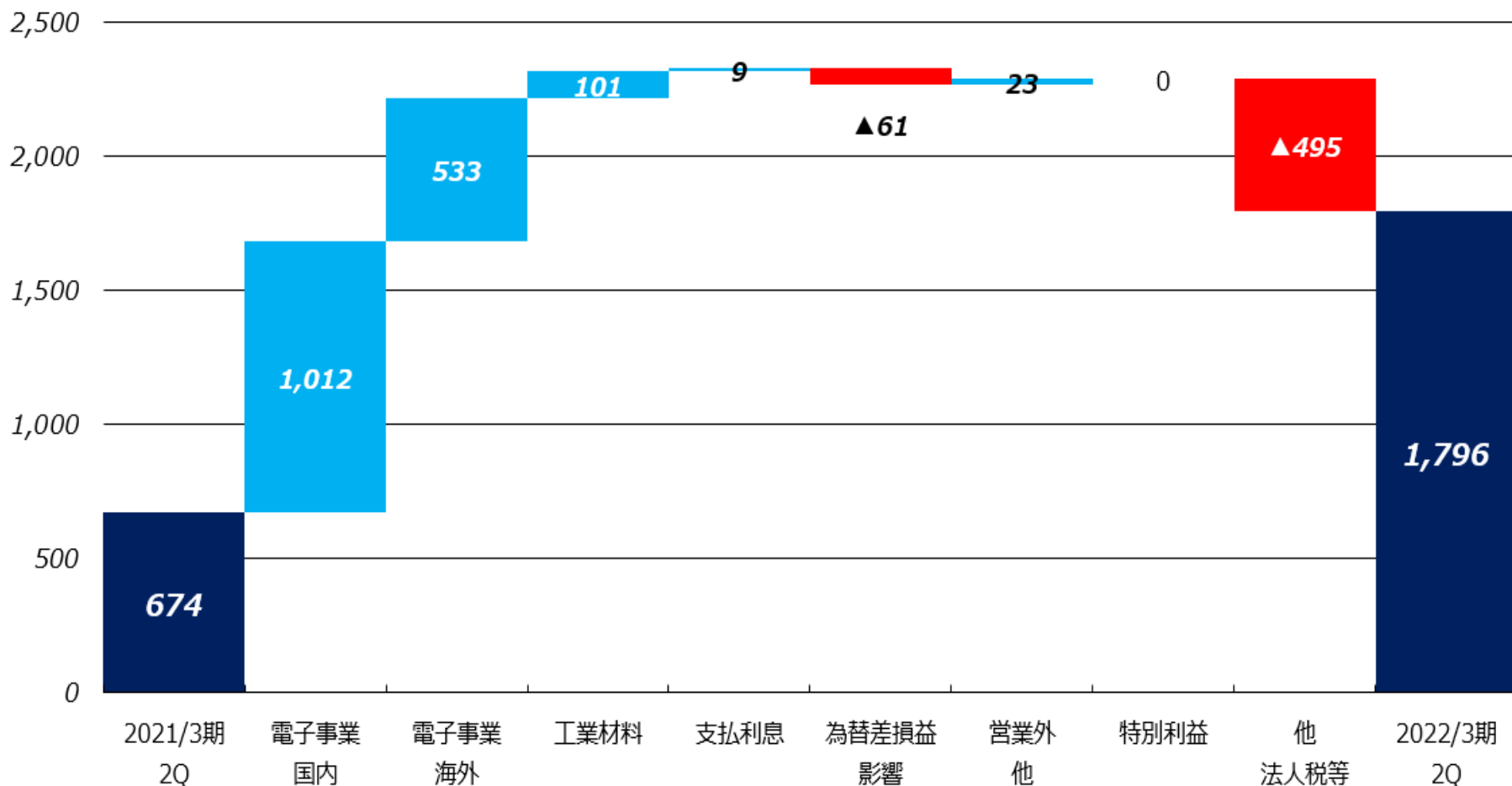
セグメント別 売上高・営業利益

【売上高】	2021年3月期 1-2Q	2022年3月期 1-2Q	増減額	増減率
	【金額単位：百万円】			
電子事業	17,656	21,634	3,978	22.5%
工業材料事業	5,210	5,675	465	8.9%
合 計	22,866	27,309	4,443	19.4%
【営業利益】	2021年3月期 1-2Q	2022年3月期 1-2Q	増減額	増減率
	【金額単位：百万円】			
電子事業	602	2,147	1,545	256.3%
工業材料事業	367	469	102	27.5%
合 計	970	2,616	1,646	169.6%

連結当期純利益 前期比増減要因

国内および海外電子事業で16億円以上の営業増益（169%以上の伸長）
 当期純利益は11.2億円の増益。

【金額単位：百万円】



アイデア カタチ
可能性を製品に
Total Solution Provider

KYODEN
GROUP



電子事業概要
2022年3月期 第2四半期

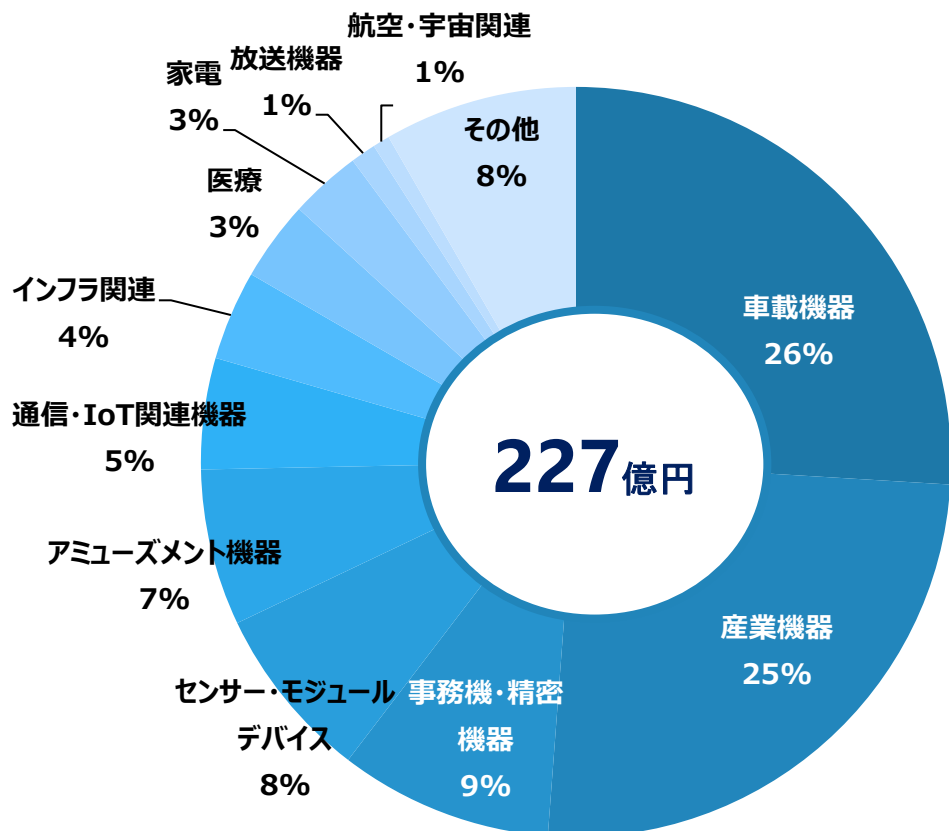
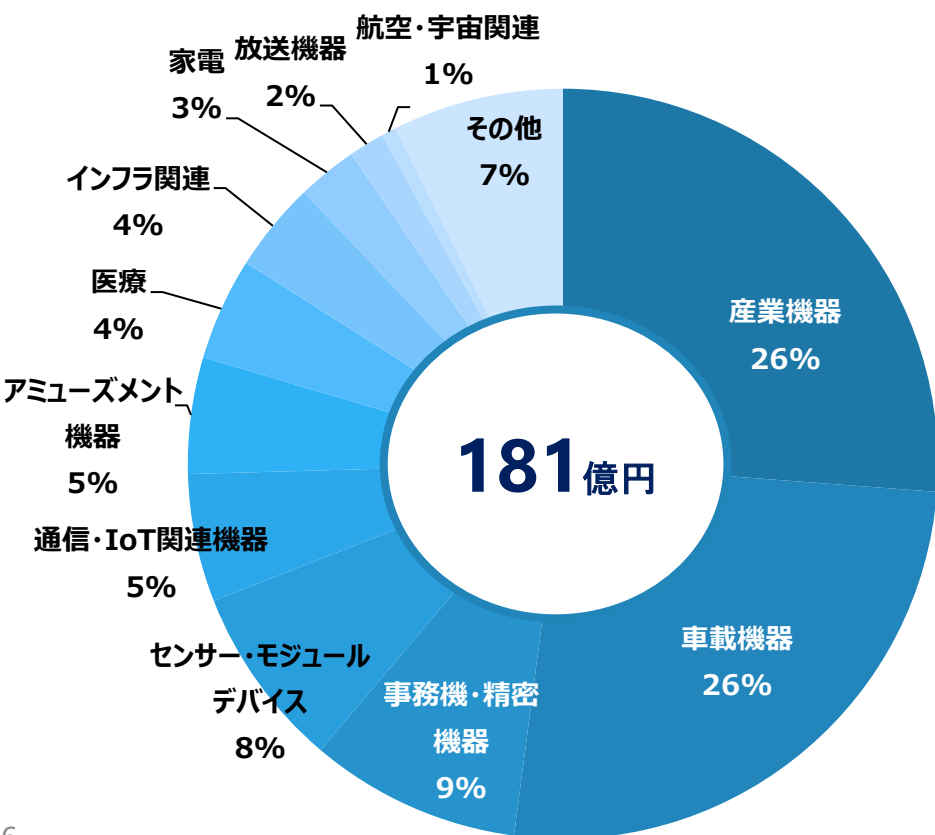
電子事業アプリケーション別売上構成：1

電子事業全体では主に
 アミューズメント／産業機器／車載／インフラ関連／センサー・モジュールデバイス／が
 前年同期比120%以上

■ 202103 1-2Q

■ 202203 1-2Q

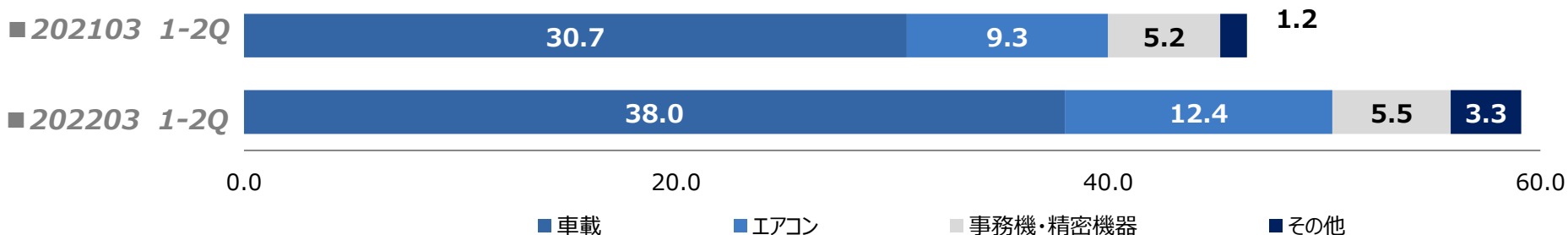
※売上金額：連結相殺前



電子事業アプリケーション別売上構成：2

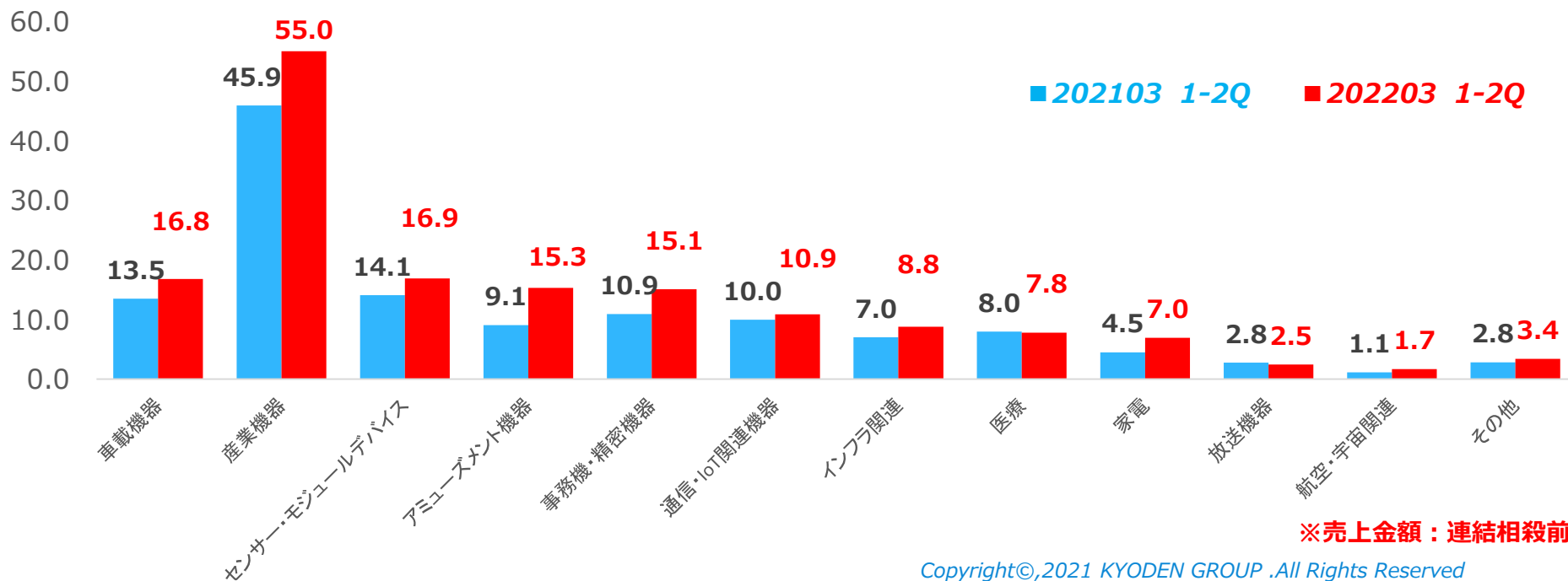
海外：KDT

【金額単位：億円】



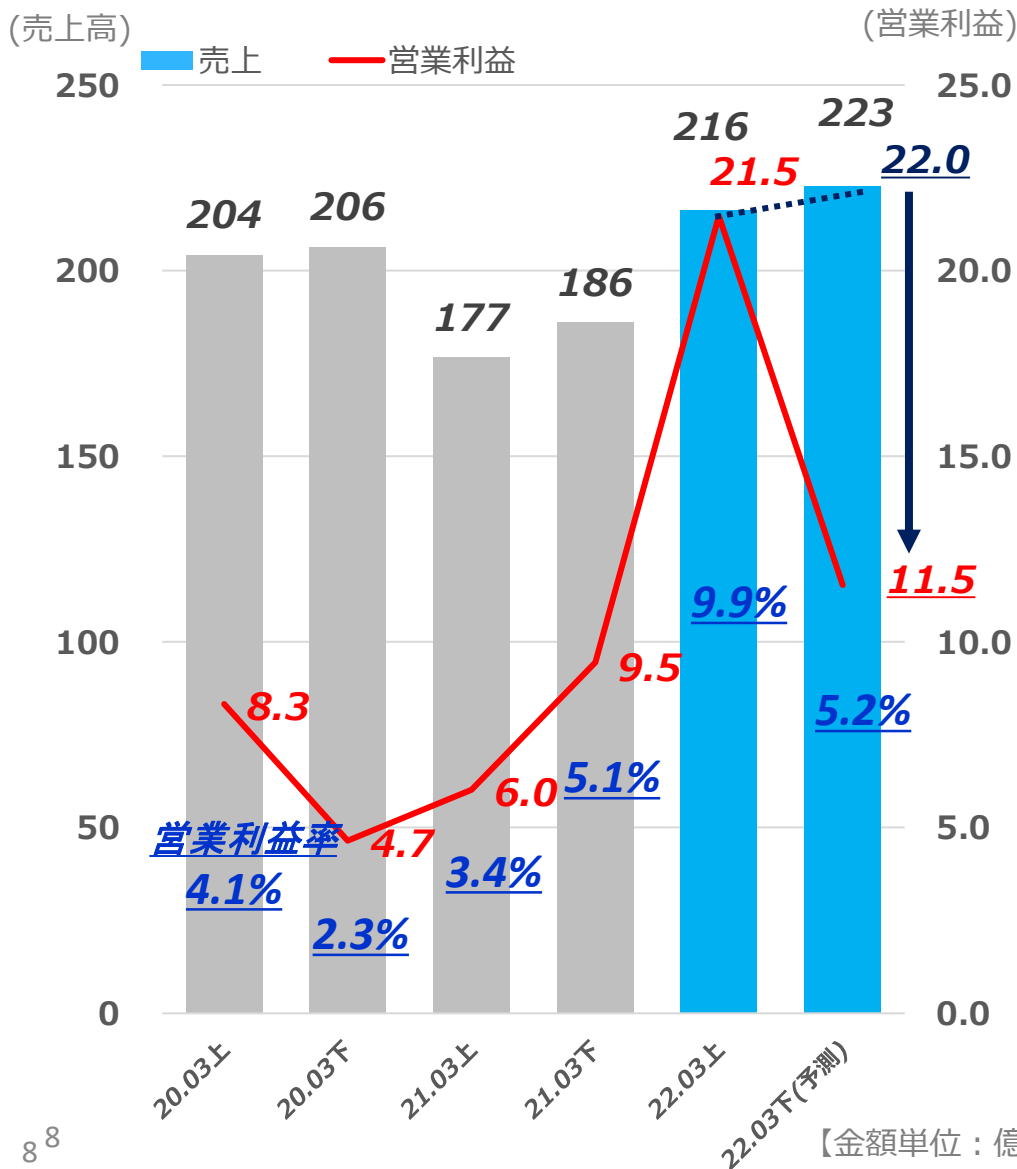
国内：設計／基板／実装

【金額単位：億円】



※売上金額：連結相殺前

電子事業 売上高／営業利益推移



202203 1-2Q 主な取り組み

- 営業
 - ・価格改定：材料／副資材の値上げ起因による価格転嫁
- 製造
 - ・作業板サイズ大判化／統一化
 - ・省人化設備導入による生産効率アップ
- 購買
 - ・基材先行手配による材料確保
- EMS事業：狩野川EMS工場の本格稼働
 - ・メンテナンス事業の立ち上げ
- 技術：高速厚銅めっき開発評価完了

202203 3-4Q 以降に向けた 主な取り組み

- 新技術基板の拡販：高速厚銅めっき高放熱基板
 - 追加設備投資：更なる需要増に備えた増産体制の構築
 - ※追加設備投資：42億円
 - 償却：5.5億円
 - ※投資総額：67億円
 - 社員還元／次年度以降計画している修繕等の前倒し
 - ：5億円
- * 3-4Q施策影響 10.5億円

202203 3-4Q 懸念事項

- 半導体不足に伴う市況環境の変化
- 中国の電力不足による一部素材・部品の調達懸念

アイデア カタチ
可能性を製品に
Total Solution Provider

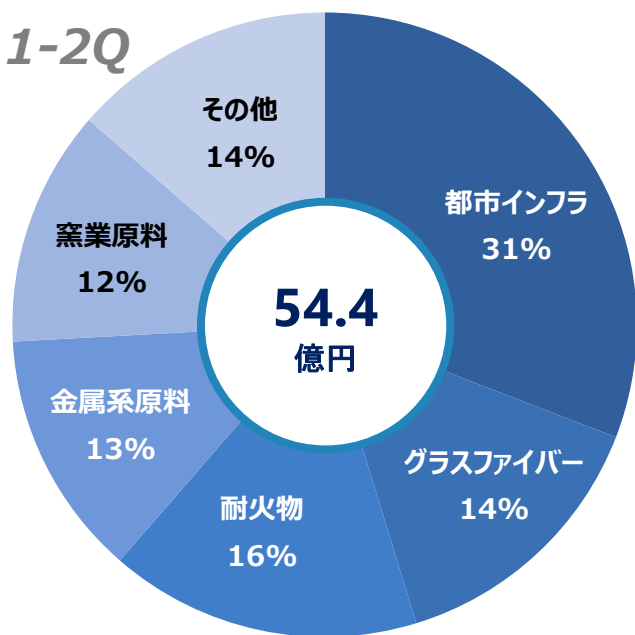
KYODEN
GROUP



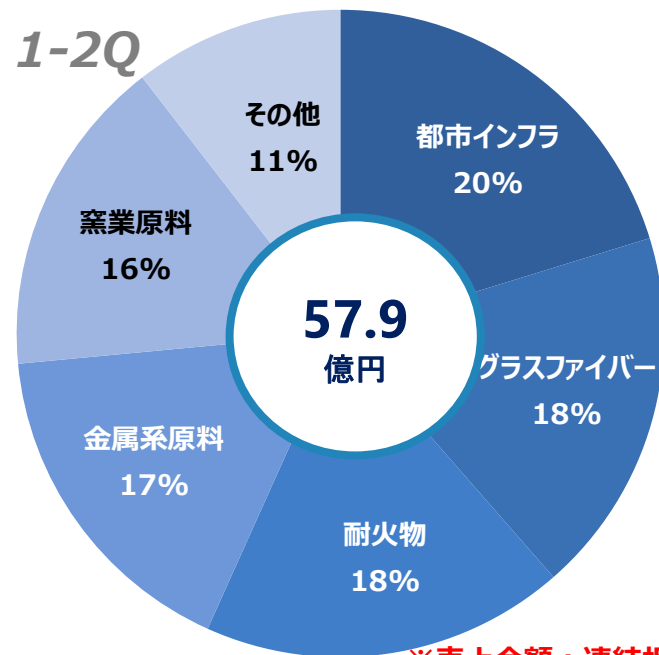
工業事業概要
2022年3月期 第2四半期

工業材料事業アプリケーション別売上構成

■ 202103 1-2Q

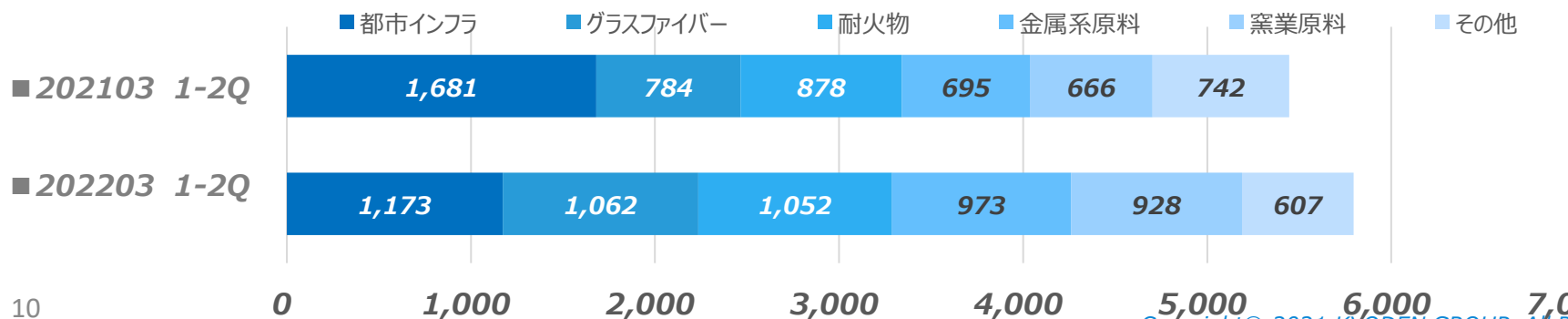


■ 202203 1-2Q

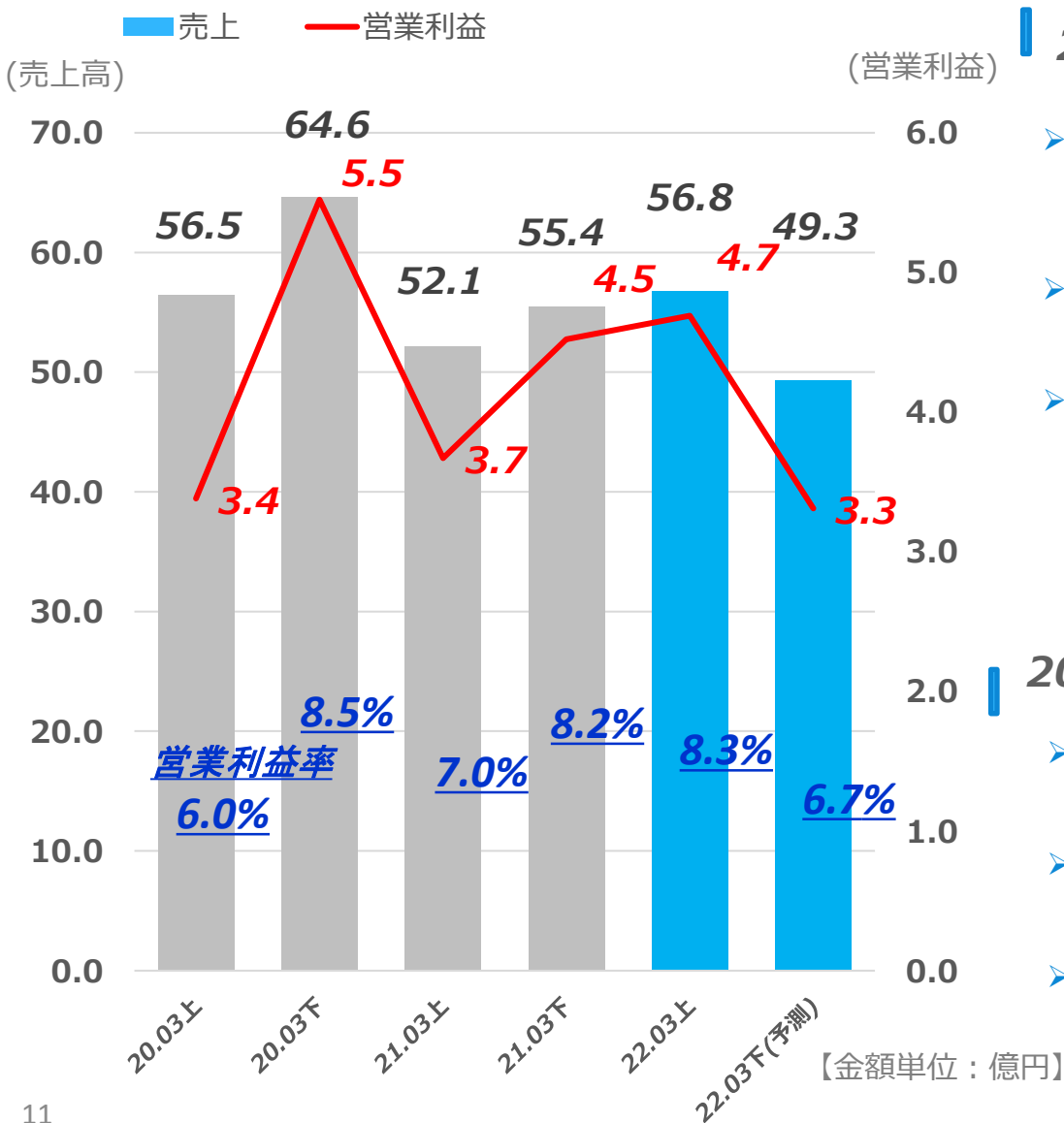


※売上金額：連結相殺前

都市インフラは工事案件の端境期に当たり前年比減収となるが、市況が全体的に新型コロナウイルス感染症の影響から回復してきたことを受け、ガラスファイバー原料、耐火物製品や窯業原料・金属系原料の仕入販売は増収となり、工業材料事業全体で前年比+3.5億円（+6.4%）の増収



工業材料事業 売上高／営業利益推移



202203 1-2Q 主な取り組み

- 各分野とも市況が全体的に新型コロナウイルス感染症の影響から回復してきたことを受け、既存・新規とも積極的な営業活動を継続。
- 新商品拡販に伴う設備投資を実施。
GF原料 混合ライン新設
- 輸入原材料や物流費上昇に対応したコストダウン及び価格改定に注力。

202203 3-4Q 以降に向けた 主な取り組み

- 一部製品において、生産調整及び工事案件の遅れが見込まれるが、堅調且つ収益性の高い案件に資源を集中する。
- 世界的な空コンテナの偏在による物流遅延リスク対策として輸入原材料の前倒し確保。
- コスト管理強化による収益確保。

アイデア カタチ

可能性を製品に

Total Solution Provider

KYODEN
GROUP



業績予想

2022年3月期

2022年3月期 連結業績予想

【金額単位：百万円】

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	対前年比 増減額
売上高	47,016	54,500	7,484
電子事業	36,263	43,900	7,637
工業材料事業	10,753	10,600	▲153
営業利益	2,366	4,100	1,734
電子事業	1,547	3,300	1,753
工業材料事業	819	800	▲19
経常利益	2,504	4,000	1,496
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,631	2,800	169
1株当たりの 当期純利益	52.96	56.35	3.39

■本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

■ご利用に関しては、ご自身の判断にてお願い致します。

本資料に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いませんので
ご承知おきください。

本資料に関するご照会先

株式会社 キョウデン 総合企画室

TEL : 03-5789-2273